

今年のステージ

『プロステージ』

“花咲かじい”と
アフロキューバンジャズ倶楽部



大塚善章氏が結成し一世を風靡したラテン・バンドが、若き精鋭を加え、30年の時を超えて復活。

足立 衛 & アゼリアジャズオーケストラ
フィーチャリング 岸 義和(TP)



“スイング時代のナンバー1トランペッター”ハリリー・ジェームスの楽曲をはじめラテンの名曲も交えて。

Black Candy with 藤田俊亮 (Vo)



1980年代から大ヒットしたR&Bやジャズとロックが融合したフュージョン、さらにはディスコの名曲を贈る。

岩崎恵子 Trio with DREAMERS



聴く人を温かくモダンなサウンドで包むジャズコーラスグループ。ちょっとお洒落な世界を楽しもう。

井手 厚 スーパーカルテット
meets シンガーズ
(関西ジャズ・スクール プレゼンツ)



スクール生のボーカルをフィーチャリング。講師の井手厚氏が主宰するカルテットで盛り上げる。

『アマチュアステージ (17:00~18:00)』

池田泉州銀行ジャズ倶楽部

スタンダードナンバーを得意とし、ステージ登場は12回目。

池田ジャズオーケストラ

『大阪府立池田高校』OB・OGで結成したビッグバンド。

2017 ジャズピクニック イン 猪名川

【日時】8月5日(土)17:00(開場 16:00)
【会場】池田市猪名川運動公園
特設会場(全芝生自由席)
【料金】(一般)前売 3,000円/当日 3,500円
(ペア券)前売 5,000円/当日 6,000円
※小学生以下入場無料

チケット販売

池田市民文化会館・いけだ市民文化振興財団(池田駅2階)・池田市役所1階会計管理室・池田市観光案内所・NPO法人関西ジャズ協会・ローソンチケット(Lコード52317)
※チケットは各プレイガイドの営業時間内に購入を

ライブのお供がズラリ



拭する解放感、親しみやすさがある。実際、コンサートホールは敷居が高いと敬遠する若い世代も多く来場し、老若男女が夕涼みをかねてジャズライブを満喫している。日常がオシャレになる、まさに文化の発信である。

フィナーレは盛り上がりも最高潮に!



会場を一段と盛り上げるのが空の色。開演は午後5時。まだ昼のような明るさの中でスタートするが、演奏が進むにつれ、夕焼けでオレンジや金色に染まり、やがてブルーの空色が濃くなつていく。舞台装置のように刻々と移りゆく空の色、白熱した演奏に、観客はステージと一体となり酔いしれる。深い闇に包まれ星空を眺める頃には、大地がゆりかごになったかのような安心感、満足感に包まれる。

主催する『一般財団法人いけだ市民文化振興財団』事業マネージャー・加納雅子さんは、「交通の要衝として発展してきた本市には歴史を伝える神社・仏閣が数多く残っています。市街地も自然に恵まれた環境にあり、この『池田』の魅力伝える野外コンサートが、市内外の多くのファンに支えられてきたことに感謝しています」と熱く語った。そして、開催を舞台裏で支える地元企業やボランティアの並々ならぬ奮励にも感謝の気持ちを表した。

ジャズピクニックの生みの親ともいえる、『一般社団法人池田青年会議所』から次のようなメッセージが届いた。「毎年、会場設営などのお手伝いをしていきます。先輩たちの池田のまちを思う気持ちを受け継ぎ、池田の魅力発信しつつ、自分たちも楽しみながら参加していきます」(理事長・城阪裕二郎さん)。

『関西ジャズ協会』の中心メンバーであるジャズ界の重鎮、そして将来を嘱望される若手アーティストのセッションは必聴必見だ。アマチュアステージでは、『池田泉州銀行ジャズ倶楽部』、『池田ジャズオーケストラ』が熱演し、期待に応える。

翌日は、同会場でパンクロックの祭典『PUNK THIS TOWN 2017』が開催される。夏の休日を、池田で楽しもう。

地元企業やボランティアに支えられ発展

テーマは「レッツダンス!」陽気に踊れるナンバーを選曲



巻頭特集

暮れなずむ空に、ジャズの調べ
ジャズピクニック
in 猪名川

夏の風物詩「ジャズピクニック イン 猪名川」が今年も開催される。猪名川のほとり、五月山に臨む豊かな自然のなかで聴くジャズは、コンサートホールでは味わえない魅力がいっぱい。ピクニック気分で行きましょう!

都市型野外ライブの草分け的存在

池田市が市制50周年を迎えた1989年、「一般社団法人池田青年会議所」が池田の魅力を広げ発信するために催した夏の大型野外コンサート「ジャズピクニック イン 猪名川」。当初は、記念事業の一環として開催されたが、好評を博し、2年後に再開されたという。28年目となる今年も8月5日(土)、『池田市猪名川運動公園』の特設会場で開催される。

町おこしのための野外ライブは、今では全国で多数開催されているが、同ライブはその草分け的存在となった。その魅力は、なんといっても交通の便がよいこと。特設会場は阪急「池田駅」から徒歩15分ほどの河川敷にある。「都市型」でありながら、五月山の深い緑、猪名川の心地よい川風が織りなす自然のなかで聴く軽やかなジャズの調べは格別だ。「ジャズは大人の音楽」というイメージを払



ドリンクやフード、アイスなども屋台で販売。飲んで食べて、思い思いにおしゃべりを弾ませる、このリラックス感が魅力

